

かながわ人生100歳時代ネットワーク

「この指とまれプロジェクト」

「シニア世代による地域活性化」

認定NPO法人
プラチナ・ギルドの会

I . 団体の概要：認定NPO法人プラチナ・ギルドの会

当団体の活動目的

スローガン：

「シニアが動く、日本が変わる。見つけてください、次の自分を。」

私たちは、

共生社会の実現にむけ「社会的な絆」を紡ぐ中間支援団体です。

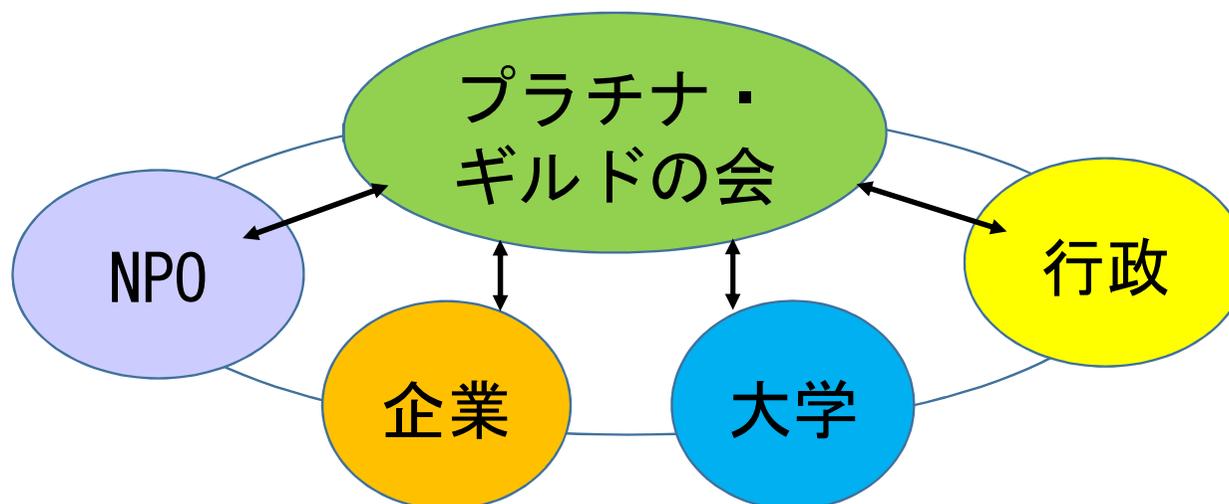
シニア世代の一員として、これまで組織人としての人生を送ってきましたが、本当の意味で「社会人」として社会に対峙してきたことは少なかったと思います。

これからは、企業人として培ってきたスキル・経験を、社会への恩返しとして還元していきたいと思います。

誰もが生き生きとして暮らせる社会の実現に向けて、私たち自身も自ら汗をかき、社会課題に取り組み、その過程を通じて、一人ひとりが人間として更なる成長することを目指しています。

会の役割と活動領域

中間支援団体として
プラットフォーム的な役割に加え、自らも活動し情報を発信することで社会に貢献



すなわち、
当会の活動には、
他の企業・団体様との
連携が不可欠です。

- ・行政、企業、大学とNPOとの橋渡し
- ・NPOの育成、活動拡大支援
- ・イベント企画受託

- ・講演・研修活動(プラチナ・アカデミー)
- ・社会起業家支援
- ・表彰活動(プラチナ・アワード)

共生社会の実現に向けた社会課題の中から、会員の関心の高い8つの活動領域を設定しています。

障がい者

こども

シングル
マザー

貧困
家庭

高齢者

外国人
労働者

難 民

地域
活性化

+ α

- 会創設は、2012年6月。シニア世代を中心に構成され、会員数は、8月末現在、正会員51名、賛助会員16名です。
- 当会は、登記上は東京都新宿区ですが、活動は首都圏全般であり、会員の多くは神奈川県下に居住しております。
- 会員は、それぞれ独自の社会貢献活動を実践している方が多く、当会の活動を通じて知見・活躍範囲を高めておられます。
- それぞれの活動領域から、会員が実践したいと思うテーマを掲げ、会員の中で共感する仲間を募り活動する、自由で柔軟な組織を目指しています。

プラチナ・ギルドの会10周年記念事業について

本年、創設10周年を迎えるにあたり、記念イベント開催を計画しています。

1. 日時: 11月3日(木・祝) 午前10~17時
2. 開催場所: 東京大学弥生講堂一条ホール、入場無料: 300名まで収容可能
3. 所在地: 東京都文京区弥生1-1-1 (東京大学農学部弥生キャンパス内)
4. アクセス: 地下鉄メトロ南北線「東大前」徒歩1分・千代田線「根津」徒歩8分
5. イベント内容:
 - (1) 基調講演 塩崎恭久氏(元厚生労働大臣・前衆議院議員)
 - (2) 地域コミュニティ活性化への取組セミナー
 - 小村幸司氏(NPO法人小さな村総合研究所)
 - 渡辺豊博氏(NPO法人グランドワーク三島)
 - 佐野正明氏(NPO法人コミュニティかりば)
 - アドバイザー: 田中一成氏(内閣府地方創生推進室)
 - (3) 共生社会実現シンポジウム
 - 中村八千代氏(ユニカセ・ジャパン... 貧困家庭の教育・雇用)
 - 服部満生子氏(みんなの保健室ひだまり... 地域包括ケア)
 - 渋谷雅人氏(全国子ども食堂支援センターむすびえ)
 - 青野真幸氏(リンクライン... 障がい者石鹸製造販売)
 - (4) その他、企業・NPO団体によるロビー展(含む物品販売)も実施します。

詳細は、別途、案内チラシを配信させて頂いております。



II. 事業の概要

神奈川県下の特定地域において、
共生社会実現の為にプロジェクトを一緒に立ち上げませんか？

まだ、地域・内容について、具体的なアイデアがある訳ではありません。
私たちは、中間支援団体として、単独で行う事業は研修・顕彰事業にとどまっておりますので、
地域で活躍しておられる団体・企業の皆様との協働という形で、地域活性化のお力になりたい
と考えております。

例えば、プラチナ・ギルドの会で現在進行中の事例を挙げますと、

- NPOアルペなんみんセンターさんと協働して、鎌倉市十二所地域で、難民の皆さんと日本ミツバチの養蜂事業を推進しています。
- ピープルポートさんと協働して、横浜市港北区で、難民の皆さんによるパソコンのリサイクル事業を推進しています。
- NPOユメソダテさんと協働して、東京都世田谷区桜丘の区立農園で、障がい者参加による農福連携事業に着手しています。

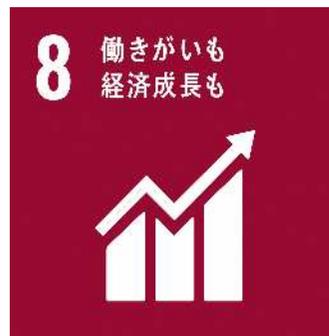
Ⅲ. 事業に期待する効果

私たちが、新事業に期待するのは、

「インクルーシブな地域コミュニティ」の実現です。

どのような環境下におかれている、どのような方も、
自らの個性を発揮出来て、お互いを理解し、リスペクトし合えるような
共同体づくりを目指したいと考えます。

IV. 対応するSDGsのゴール



V. 連携を期待するリソース

私たちプラチナ・ギルドの会は、今まで社会貢献活動の顕彰事業や、企業職域向け研修事業に注力してまいりましたが、**中間支援団体**であるが故に、**地域における実践活動の経験**が不足しております。

特に、障がい者・貧困家庭・高齢者介護を地域で直接支援を実践されておられるNPO団体、地域でサービス提供されている企業の皆様であれば、私どもが教えを請いながら、是非一緒に活動させて頂きたく存じます。

VI. 事業のスケジュール

まだ私どもの思いつきの段階ですので、確たるスケジュールは決めておりませんが、勝手ながら、11月までは記念事業に忙殺されておりますので、**年末以降、企画着手**させて頂ければ、と考えております。

2023年度内に稼働開始を目指します。

VII. ネットワーク団体へのメッセージ

人生100歳時代、その言葉を聞いて、「長い」と思うか、「短い」と思うか？
シニア世代にとって、肉体的な寿命が伸びても、実際に活動できるかは不透明です。
そして、私たちが精神的に満たされた人生を送りたいと思えば、
社会との接点を増やし続けることが欠かせません。
そう考えると、「人生はまだまだ短い」のです。

これは、シニアに限らず、若い方々にも言えることです。
要は、「孤独からの開放」です。
多様性に富んだ個性を尊重するインクルーシブなコミュニティに自らの身を置き続けることが
重要と考えますが、それは、探すのではなく、自らが創り上げていくものではないでしょうか。

「志」と「共感」の輪を拡げていきませんか？